

番 号
令和8年6月10日

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀市天神1-2-55 IK天神ビル4階
団 体 名 公益社団法人 Civic Force
代 表 者 職・氏 名 代表理事 根木 佳織
電 話 番 号 0952-20-2900

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和7年度において、当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して別紙のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱第21条第1項の規定により提出します。

令和7年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

- 1 団 体 名 : 公益社団法人Civic Force
- 2 事業実施期間 : 令和7年4月1日 から 令和8年3月31日
- 3 事業の背景 (※事業計画書から転記)

■事業の実施により実現したい佐賀県の地域像

平時から防災に対する意識が高く、行政とコミュニティが互いに信頼し繋がっていることで、大規模災害時に行政と民間の協働により迅速でかつ効果的な自助・共助・公助が実現できている社会。

4 事業の成果

①県民の便益にどのようにつながったのか

1. 防災意識の向上

以下の活動を通じて、県民の防災意識向上に取り組んだ。

- ・2025年9月4日：牛津小学校の4年生の児童約70名を対象に防災授業を実施。同年8月豪雨で被災した熊本県内の小学校の様子を写真で紹介し災害対応の経験を共有、災害を身近なものとして感じてもらうとともに、日頃の備えの重要性をオリジナルの防災クイズやビンゴ、すごろくなどを通じて、児童が楽しみながら主体的に考える機会を提供した。授業後には「こうした活動があることを知り、自分も人を助ける行動をしてみたいと思った」「楽しみながら、これまで知らなかった災害の知識を学ぶことができた」といった感想が寄せられ、学びと意識の変化につながった。
- ・2025年11月15日：佐賀空港で開催された「空の日フェスタ」に出展し、防災クイズや防災グッズが当たる抽選会を実施した。参加者約760名に対し、災害への備えや防災の重要性について家族で考える機会を提供し、防災意識の向上を図った。

2. Good Linksを活用した平時の生活者支援

災害時の迅速な支援のマッチングをサポートするGood Linksを平時にも活用し、企業から無償提供を受けた衣料品、生活消耗品、化粧品など23アイテム約750点（約11,000人分）を、県内のNPO、社会福祉協議会、社会福祉士会など14団体を通じて、生活困窮者や支援を必要とする方々に届けた。物価高騰の影響により支援を求める声が増加しており、トイレットペーパーやティッシュなどの消耗品が家計の助けになっているという声が寄せられている。

県内の5企業26の支援団体がネットワークに参加しており、災害時には要支援者や要配慮者へ迅速に支援を届けられる体制が構築できている。

3. 自治体との連携強化

- ・2025年8月31日：武雄市総合防災訓練においてGood Links事業紹介展示を行い、自治体との連携を確認した。

②佐賀から広がった社会像（該当する活動のみ）

・支援マッチングプラットフォーム「Good Links」や佐賀市内を拠点とした災害支援活動
Good Linksおよび佐賀市内にある防災備蓄倉庫を拠点とし、災害支援活動を実施した。
2025年2月に発生した大船渡山林火災では佐賀から靴下などの支援物資を送送。2025年8月の九州豪雨では、熊本県八代市、氷川町、上天草市、玉名市、玉東町のボランティアセンターに送風機などの家屋復旧用資機材の無償貸し出しや熱中症対策として飲料等の提供を行った。
佐賀県において平時から進めてきた備蓄の充実や緊急即応体制の強化により、他県で災害が発生した際にも有効に機能しており、地域を越えた支援モデルとして広がりつつある。

5 寄 附 金 活 用 事 業 実 績 ： （別記1）

6 次 年 度 繰 越 額 活 用 見 込 み ： （別記2）

7 寄 附 金 活 用 額 ： （別記3）

(別記1) 寄附金活用事業実績

○寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合は、GCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容 ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所	事業費の 支出金額 [単位：円]	うち寄附金 活用額 [単位：円]
①緊急即応体制をつくる	①大規模災害発災直後に緊急支援ができる体制を平時より整えておく ②被災者 ③以下の通り ○防災イベント参加による防災意識の啓発活動 ○ARROWS（空飛ぶ捜索医療団）事業 大規模災害発生時に、医療を中心とした救助チームが航空機や船で迅速に被災地へ向かい、自治体などと連携しながら救命・物資支援・避難所運営・復興支援を行う「ARROWS (Airborne Rescue & Relief Operations with Search)」の活動。 ○支援物資の備蓄	①通年 ②日本	1,429,011	1,429,011
②被災地を支援する	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○緊急支援活動 ・2025.8 九州豪雨 ・2024.9 牧之原市竜巻（静岡） ○SEMA（緊急災害対応アライアンス）を含む企業と連携した物資支援 ○外国人向け情報提供支援	①通年 ②日本	3,300,000	3,300,000
③GCF 大船渡山林火災 2025年3月3日～ 2025年5月31日	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○緊急支援 岩手県大船渡市への支援チームの派遣・ニーズ調査 ○企業と連携した緊急支援物資の調達・配布 ○避難者の栄養環境改善	①3～5月 ②岩手県	891,990	891,990
④GCF 令和7年8月豪雨 2025年8月15日～ 2025年11月12日	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○緊急支援 2024.8 熊本県への支援チームの派遣・ニーズ調査 ○企業と連携した緊急支援物資の調達・配布 ○ボランティアセンターへの資機材貸与と熱中症対策支援	①8～11月 ②熊本県	107,325	107,325
⑤GCF 空飛ぶ捜索医療団“ARROWS” 2025年1月1日～ 2025年3月31日	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○人員体制や組織基盤の充実 ○支援物資の調達や備蓄倉庫の維持管理 ○災害時を想定した行政や企業との訓練	①通年 ②佐賀県	193,830	193,830

④GCF 空飛ぶ捜索 医療団“ARROWS” 第 3弾 2025年6月30日～ 2025年9月27日	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○人員体制や組織基盤の充実 ○支援物資の調達や備蓄倉庫の維持管 理 ○災害時を想定した行政や企業との訓 練	①通年 ②佐賀県	152, 100	152, 100
⑤GCF 空飛ぶ捜索 医療団“ARROWS” 第 4弾 2025年11月6日～ 2025年12月31日	①被災者支援 ②被災者 ③下記の通り ○人員体制や組織基盤の充実 ○支援物資の調達や備蓄倉庫の維持管 理 ○災害時を想定した行政や企業との訓 練	①通年 ②佐賀県	579, 150	579, 150
計			6, 653, 406	6, 653, 406

(別記2) 次年度繰越活用見込み

○次年度に繰り越した寄附金の活用見込み

事業名	具体的な事業内容 (予定) ①目的②対象者③実施内容	①実施日時 ②実施場所 (見込み)	事業費の 支出見込み額 [単位：円]	うち寄附金 活用見込み額 [単位：円]
計			0	0

(別記3) 寄附金活用額

【収入】佐賀県ふるさと寄附金収入額 … ① (= A + B)		10,704,050
(内訳)	本年度の佐賀県ふるさと寄附金収入額 … A	10,704,050
	本年度交付を受けた佐賀県ふるさと寄附金分	10,704,050
	前年度控除額(県事務経費)還付分	
	前年度収入済の佐賀県ふるさと寄附金繰越額 … B	

【支出】佐賀県ふるさと寄附金活用額… ② (=a+b)		10,704,050
(内訳)	事業に活用した寄附金額 … a	6,653,406
	ふるさと納税の募集に要した費用の額 … b	4,050,644
	返礼品等の調達に係る費用	2,318,933
	返礼品等の送付に係る費用	0
	広報に係る費用	18,587
	事務に係る費用	1,713,124

佐賀県ふるさと寄附金の次年度繰越額 … ③ (=①-②)	0
------------------------------	---

■直近の収支報告書掲載箇所(ホームページURL等)

<https://www.civic-force.org/about/index.html#link06>